

日本発の消化酵素・漱石も愛用した胃腸薬

登録番号	第 00208 号		
登録年月日	平成27年9月15日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	タカジアスターゼ
所在地	東京都品川区 第一三共株式会社 品川研究開発センター 歴史展示室
所有者 (管理者)	第一三共株式会社 品川研究開発センター 歴史展示室
製作者(社)	三共合資会社（現：第一三共株式会社）
製作年	1909年
初出年	1894年
選定理由	タカジアスターゼは高峰譲吉（1854-1922）が1894（明治27）年に発見した消化酵素を胃腸消化薬に製品化したものである。それまでは抽出液を煮詰めた水あめ状のもので取扱いが不便であったが、これを粉末状で取り出すことに成功した。当時、高峰の一連の特許を元に米国のパーク・デービス社で製造され世界各国で発売されたが、高峰の意向で日本では1899（明治32）年に第一三共の前身である三共商店から発売された。夏目漱石の小説「吾輩は猫である」にも登場する薬であるが、現在も各製薬会社が発売している胃腸消化薬の成分として含有されている。
登録基準	一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	非公開
写真	
その他参考となるべき事項	